

標記の件について、下記の通り報告します。

記

提出年月日 7 年 3 月 24 日

プログラム No.		プログラム名称	獣害対策
学 科 名	農業機械科	担 当 者 名	佐藤 尊
参 加 生 徒	2, 3 学年	延 べ 人 数	20名
実 施 会 場	加美農業高等学校、南山果樹園		
実 施 目 標	① 色麻町からの範囲拡大による獣害対策強化..... ② 自治体や猟友会の連携による活動増..... ③ 出身地域との連携による人材不足解消.....		
実 施 内 容	① 本校敷地内での箱罾設置、それに向けた箱罾制作..... ② 猟友会と連携し、南山果樹園での囲い罾設置..... ③ 地元企業と連携し、企画立案.....		
実施日・実施回数 及び実施時数	実施日、実施時数：毎週火曜日、4時間		
外 部 講 師	区 分	<input type="checkbox"/> 産業実務家教員 <input type="checkbox"/> 産業連携CD <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 関連企業 ）	
	所属・役職・氏名	ターナー色彩株式会社 東都興業株式会社 色麻用猟友会	
教育課程への位置付け		<input type="checkbox"/> 総合実習 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 課題研究 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
記 録 写 真			
	箱罾設置	箱罾制作	企業との企画
実 施 果	① 自治体等と連携し箱罾の制作や改良を繰り返し行うことができた。 ② 猟友会と連携し、大がかりな囲い罾の設置をたいげんできた。 ③ 今年度から新たに連携する企業が増えた。		
実 施 題	① 発表会参加などによるが部への発信数のばらつき ② 企業・地域と学校側とのやりたいことのマッチング ③ 生徒の企画・発想力		
備 考		

(※1) プログラム No. は予算等管理用『事業計画一覧表』のNo. と一致させてください。
 (※2) 産業実務家教員等に関しては、授業単元毎、月毎など作成区分を工夫ください。